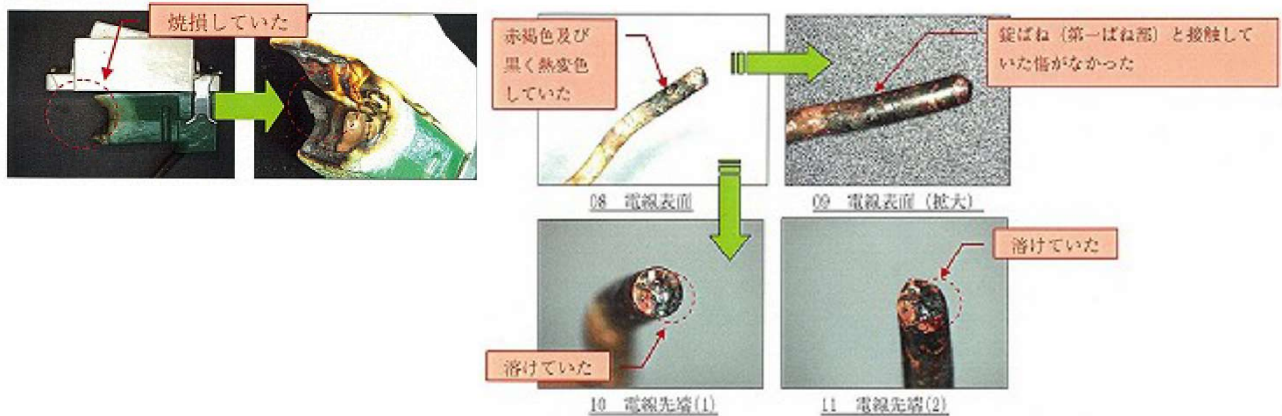


種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	電線挿入不足によるスイッチ焼損	5-11

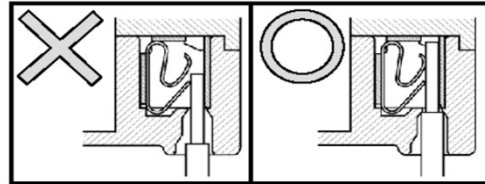
不具合事例・状況

- ・照明用のスイッチのボディーが半分、焼損(破損)していた。
- ・端子部は異常発熱により赤褐色に変色し、先端部が溶けていた。
- ・挿入されていた電線にばねによる傷は無く、先端が溶けていた。



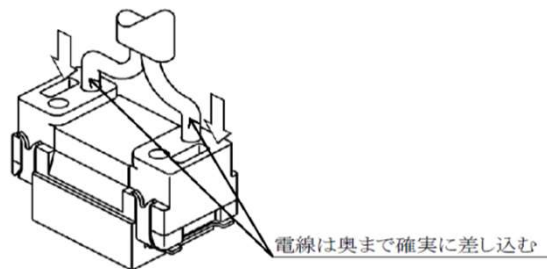
原因

- ・右図(×表記)のように電線の挿入が不十分であったと考えられる。



対処方法

- ・配線の余長を利用し、破損した先端部を切断し、被覆を正規の長さにより、新規のスイッチに交換した。



再発防止対策

- ・ケーブルの被覆を剥く寸法の確保と挿入状況の確認を、施工要領書などに明示し徹底させる。
- ・スイッチ本体裏に、ストリップゲージがある製品もあり、これを利用して電線の被覆を剥く寸法を確認する。

備考	参考文献 :	制定	2023年3月1日
	参考メーカー: パナソニック株式会社(電線挿入図)	改訂	